

緑のまきば

2000 No.33

小金井緑町教会
 小金井市緑町四一六三三
 電話〇四二三八一七九六一
 編集・牧師 山畑 謙

説教

『契約』

山畑 謙

日が沈み、暗闇に覆われたころ、突然、煙を吐く炉と燃える松明が二つに裂かれた動物の間を通り過ぎた。その日、主はアブラハムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。」

(創世記一五・一七―一八)

イスラエル民族のはじまりは、始祖アブラハムが神から「祝福の源」となるようにと呼び出されることにありました。呼びかけに応じたアブラハムに、神は「契約」という形で祝福をお与えになりました。それは、すべての民に神の祝福をもたらす源となるための子孫と、その子孫が住む土地を与えるという具体的な約束を含むものでした。

なるでしょうか考えられません。しかし神は満天の星空をアブラハムに仰がせ、あなたから生まれる子孫がこの数え切れない星のようになるのだと告げられました。アブラハムは主(神)を信じました。何の保証もありません。いや、あると言えるのはただ星空だけ。しかし彼はこの神の約束の言葉を信じました。

羊と、三歳の雄羊と、山鳩と、鳩の雛とをわたしのもとに持って来なさい。」と言われます。アブラハムはすぐに神がこれ何をしようとしておられるのか分かりました。彼は言われるまでもなく、これらの動物を二つに切り裂いて、地面に互いに向かい合わせて置きました。準備OKです。

の血による新しい契約である。」と。あなたの身代わりとなって、罪の罰をすべて十字架に受けて、罪をゆるし、復活の命を与えてあなたを生かそうという約束です。それは今も、死を迎える時も、そして死の彼方までも、とこしえにあなたと共にいよう、という約束です。アブラハムが神の約束の言葉を信じたように、私たちもこの主の新しい約束の言葉を信じ、洗礼を受けて共に主の新しい契約に生きていきたいと願います。

教会は契約共同体であり、毎日曜日の礼拝は、どういふ契約に共に生かされているのかを覚え、計り知れない犠牲をもって契約を与えて下さった神と向かい合い、神をたたえる時と場です。特に、聖餐式はまさに目に見える形でそれを表しています。礼拝で自分の約束に対する不誠実さを思い知らされます。しかし、主の契約がなお保たれている事、すなわち復活の主が共にいて下さっている事に目を開かれる時、深い悔い改めと、隣りに人に対する七を七十倍する寛容が起ころでしよう。

聖書の信仰に生きるとは、ここに示されているように、神との契約関係に生きるといいう事です。新約聖書は、イエス・キリストによるすべての人に与えられる『新しい契約』が記されています。最後の晩餐の時に、主イエスは言われました。「この杯は、あなたがたのために流される、わたし